



# 伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 飼料用米の栽培拡大へ

## 主食用品種を飼料用に転換で

# 県の助成、従来の2倍に

### 2月定例県議会予算委員会

活力のあるふるさと佐倉市、千葉県の実現を目指して全力投球している伊藤昌弘県議(佐倉市選出、3期)は2月定例県議会予算委員会での質問を行いました。農業振興を政策の柱の一つに据える伊藤県議ですが、予算委員会でも農業問題を取り上げ、稲作農家支援のための飼料用米生産について質問しました。このほか、地域の安全確保に欠かせない消防団員入団促進の取り組み、印旛沼の外來生物、カミツキガメの駆除などについて県担当者に答弁を求めました。

**伊藤議員 食料・農業・農村基本計画で食料自給率・食料自給力の維持向上を図るため、飼料用米等の戦略作物の生産拡大を推進することとされ、その生産努力目標が平成37年度末までに110万トンとされた。そこでうかがうが、今年度の飼料用米の取り組み状況はどうか。**

**生産振興課長** 県では、平成27年度における飼料用米の取り組み面積の拡大に向け、重点市町村に対する

**キャラバンの実施や推進パンフレットの全戸配布、戸別訪問を実施したところです。その結果、飼料用米の取り組み面積は、昨年度の3.5倍となる約4000ヘクタールまで拡大しました。伊藤議員 平成28年度は飼料用米の生産拡大にどのように取り組むのか。**

**生産振興課長** 主食用米の需給改善のためには、飼料用米の取り組み拡大が必要であり、さらに、この取り組みを継続・定着させるには、



2月県議会予算委員会で質問する伊藤昌弘県議

**要望** 伊藤議員 今後も、国に対して助成の継続を要望しながら、県においての上乗せ助成の継続を要望する。

**アキヒカリ、初星 種子の供給量確保**

伊藤議員 知事特認品種「アキヒカリ」と「初星」

の種子の需給状況はどうか。

**生産振興課長** 多収性専門品種として知事特認品種である「アキヒカリ」、「初星」の種子については、年々需要が増加しているところで

## 農業法人化へ一層の支援を

**伊藤議員** 農業の法人化支援についてうかがう。

**伊藤議員** 法人化推進の課題と考えています。

**伊藤議員** 法人化推進の取り組みはどうか。

**担い手支援課長** 県では、農業生産法人を平成24年度の320法人から5年間で100法人育成し、29年度に420法人とすることを目標としています。

このため県農業会議等、法人育成に係る関係機関と連携し、県内各地で相談会や法人化の手続き支援等を実施しており、法人数は28年1月現在で397法人と24年度から77法人増加しています。

**伊藤議員** 法人化を進める上での課題は何か。

**担い手支援課長** 所得がおおむね1千万円を超える農家については、個人経営よりも税金等が軽減されるという大きなメリットがあり知られていないことや、設立時に必要な登記費用などの経費、従業員に対する社会保険の加入義務などが法人化を進めるに当たって

そこで県では、28年産用種子について、農家の注文に十分応えられるよう、供給体制を整備し、「アキヒカリ」では1000ヘクタール、「初星」では150ヘクタールに相当する量を確保しました。

### 伊藤まさひろ・PROFILE

- 略 歴 ■
- 昭和30年 佐倉市に生まれる
  - 昭和53年 日本大学法学部卒業
  - 平成7年 佐倉市議会議員当選
  - 平成11年 佐倉市議会議員再選
  - 平成19年 千葉県議会議員当選
  - 平成23年 千葉県議会議員再選
  - 平成27年 千葉県議会議員3選
- 現 職 ■
- 千葉県議会 総務防災常任委員会委員長
  - 日大習志野高校同窓会 会長
  - 佐倉リトルシニア野球協会 会長

**要望** 伊藤議員 今後の農家の担い手育成や法人化について、県のさらなる取り組みを要望いたします。

**伊藤議員** 法人化推進の課題と考えています。

**伊藤議員** 法人化推進の取り組みはどうか。

**担い手支援課長** 法人制度の理解を促進するための研修会を行うとともに、法人の設立に要する経費の助成、さらには、法人化を目指す農家に、経営アドバイザーを派遣するなどの取り組みを行っているところです。

今後もこのような取り組みを引き続き実施し、法人化を積極的に進めてまいります。

●県政や佐倉市のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

**伊藤まさひろ 県議事務所** 〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019 FAX.043-486-1616

# サラリーマン消防団員確保 協力事業所表示制度を導入

## 消防団員入団促進 イベントに補助金

伊藤議員 消防団についてうかがう。昨今、消防団員の減少が続いているが、団員数の推移及び女性消防団員の状況はどうか。

消防課長 県内の消防団員数は、少子・高齢化などにより減少傾向にあり、平成27年4月1日現在、2万6368人となっております。

前年度から189人減少しております。そのうち、女性消防団員数については、517人で、前年度よりも47人増加しており、近年、増加する傾向にあります。

伊藤議員 団員確保のためにどのような取り組みをしているのか。  
防災危機管理部長 今年度から、市町村が行う入団促進のPRイベントなどに活用できる「地域防災力向上総合支援補助金」を創設いたしました。また、「消防防災施設強化事業補助金」においても、団員が増加した市町村に対し、新入団員の装備品への補助率を引き上げるなど、市町村の団員確保の取り組みを支援しているところであります。



県担当者の答弁を聞く伊藤昌弘県議

伊藤議員 県では、消防団員の確保に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。  
防災危機管理部長 地域防災力の要である消防団の充実強化を図るためには、市町村による団員の確保が重要であります。このことから、本年1月に、知事から県内市町村長あてに文書を発出し、大学生・女性の入団促進や団員の装備・処遇の改善に積極的に取り組むよう、要請しているところであります。

また、県内の消防団員の約7割が被雇用者いわゆるサラリーマンとなっている状況があることから、消防団活動に協力を行う事業所に対する地域への社会貢献を評価する「消防団協力事業所表示制度」を全市町村に導入したところであり、今後とも協力事業所数の増加を図り、被雇用者が入団しやすく、かつ消防団員として活動しやすい環境の整備を進めてまいります。

伊藤議員 新消防学校において、今後消防団員に対する教育訓練はどうなるのか。  
消防課長 新消防学校においては、消防団員に対して、現行の規律訓練や現場の安全管理に関する講義などに加え、火災発生装置を使ったポンプ車による消火訓練や、地震等で倒壊した建物からの救助訓練など、より実践的な訓練を行い、更なる技術の向上を図ってまいります。

## 地震被害想定調査結果 28年6月までに公表

伊藤議員 地震被害想定調査についてうかがう。現在、実施している地震被害想定調査はどのような内容で、結果の公表時期はいつ頃なのか。

防災政策課長 現在、実施している地震被害想定調査では、本県に大きな影響がある地震として、県北西部直下を震源とした地震等を想定し、震度分布や津波

の増減予測を行うとともに、捕獲した個体の一部を解剖し、産卵時期や、産卵可能となるサイズについての調査を行っています。

伊藤議員 特定外来生物カミツキガメの今年度の捕獲状況はどうか。  
自然保護課長 伊旛沼周辺地域における今年度のカミツキガメの数は、1月末現在で、県捕獲事業により793頭、市町村や警察の捕獲により160頭、合計953頭で、この他に卵を366個、駆除しました。捕獲数及び卵の駆除数ともに、過去最多となっております。

伊藤議員 今年度実施しているカミツキガメの実態調査の状況はどうか。  
自然保護課長 今年度、県では、伊旛沼周辺地域において、カミツキガメの生息数の推計と今後の個体数

の増減予測を行うとともに、捕獲した個体の一部を解剖し、産卵時期や、産卵可能となるサイズについての調査を行っています。

伊藤議員 実態調査の結果を踏まえて、今後、どのように取り組んでいくのか。  
自然保護課長 平成28年度は、今年度実施している実態調査の結果と、28年度に実施予定の発信器を用いた行動調査の結果を踏まえ、有識者からなる防除検討会を設置して、カミツキガメの根絶に向けた中長期のロードマップと、防除の進捗に応じた効果的・効率的な駆除方法について、検討

の増減予測を行うとともに、捕獲した個体の一部を解剖し、産卵時期や、産卵可能となるサイズについての調査を行っています。

## 災害時の避難所数 県内2100カ所

伊藤議員 県内にある避難所の数は把握しているのか。  
危機管理課長 県内の避難所数を、平成27年11月1日現在で調査したところによると、全54市町村で2100カ所となっております。

伊藤議員 県内市町村の備蓄状況はどうか。  
危機管理課長 県内市町村の備蓄状況については、毎年、消防庁の調査により把握しておりますが、平成27年4月1日現在では食糧が、米約13万7千キロ、乾パン約53万9千食、缶詰約49万個となっております。その他では飲料水が約160万6千リットル、毛布が約37万8千枚などとなっております。

## 伊旛沼のカミツキガメ 発信機装着し行動調査

伊藤議員 平成28年度は、実態調査の結果をもとに、防除検討会で今後の取り組み方針や効果的な駆除方法を検討することとなるので、おおいに

伊藤議員 伊旛沼の水質浄化に向け、今後どのように取り組んでいくのか。  
環境生活部長 来年度は、第7期の湖沼水質保全計画の策定を予定しております。伊旛沼につきましては、市街地から流入する汚濁負荷が大きいため、この汚濁負荷の削減対策を、引き続き、第7期の計画に盛り込むことを考えております。

伊藤議員 特定外来生物カミツキガメの今年度の捕獲状況はどうか。  
自然保護課長 伊旛沼周辺地域における今年度のカミツキガメの数は、1月末現在で、県捕獲事業により793頭、市町村や警察の捕獲により160頭、合計953頭で、この他に卵を366個、駆除しました。捕獲数及び卵の駆除数ともに、過去最多となっております。

伊藤議員 実態調査の結果を踏まえて、今後、どのように取り組んでいくのか。  
自然保護課長 平成28年度は、今年度実施している実態調査の結果と、28年度に実施予定の発信器を用いた行動調査の結果を踏まえ、有識者からなる防除検討会を設置して、カミツキガメの根絶に向けた中長期のロードマップと、防除の進捗に応じた効果的・効率的な駆除方法について、検討

伊藤議員 平成28年度は、実態調査の結果をもとに、防除検討会で今後の取り組み方針や効果的な駆除方法を検討することとなるので、おおいに

伊藤議員 伊旛沼の水質浄化に向け、今後どのように取り組んでいくのか。  
環境生活部長 来年度は、第7期の湖沼水質保全計画の策定を予定しております。伊旛沼につきましては、市街地から流入する汚濁負荷が大きいため、この汚濁負荷の削減対策を、引き続き、第7期の計画に盛り込むことを考えております。